

組合支援 ウォッチ

お菓子を通じて心の安らぎ、
豊かなひとときを提供

久留米菓子協同組合では、原材料の高騰や人手不足、消費の減少等による厳しい経営環境の中、久留米菓子の魅力をPRすべく組合での商品開発やイベント等を実施しています。今回、岡田義広理事長（クロボー製菓(株)代表取締役社長）に話を伺いました。

組合・業界の現状

当組合は昭和22年8月に久留米市及び三井郡大刀洗町の菓子製造業者で設立。筑後地方は農業が盛んであり、お菓子は仕事の合間のエネルギー補給として、また手土産やおすそ分けとして多くの方々に親しまれていました。

しかし、コンビニエンスストアでの低価格の和洋菓子の販売や少子高齢化による人口減少、また、人と人との繋がりも希薄になり、手土産やおすそ分けとしての需要も減少しており、菓子の消費は低迷しています。近年では原材料費や物流費の高騰が組合員企業の経営を圧迫しており、さらには人手不足や後継者問題など非常に深刻であり、最盛期には50社ほど所属していた組合員企業は、現在約半数の24社となっています。



水天宮恋ものがたり（紅白饅頭）

和菓子8店の自信作の詰め合わせ

「水天宮恋ものがたり～久留米の宝箱～」

組合員企業を取り巻く厳しい状況を何とかしたいとの思いから、青年部メンバーを中心とした和菓子8店で構成する「くるめ名物菓子づくり会」で2011年の九州新幹線開通に向けて、組合オリジナル商品の検討を重ねていました。

そうして2010年には紅白饅頭の「水天宮恋ものがたり」を発売、その後、日持ちのする手土産用の焼菓子を、との声を受け、2012年に「水天宮恋ものがたり～久留米の宝箱～」を販売開始。地元産の食材を使用した8店の自信作が1品ずつ詰め合わせられ、それぞれに水天宮境内に美しく咲く椿の名前が付けられています。地場産くるめJR久留米駅店や道の駅くるめ等で販売しており、久留米のお土産品として定着しています。



水天宮恋ものがたり～久留米の宝箱～

久留米のスイーツ、パン大集合！

地元市民への感謝の思いを込めて、2017年5月から年1回、久留米の菓子やパンが一同に味わえるイベント「くるめ菓子祭り～うまかつ祭～」を開催しています。

なかでも「こども和菓子教室」を実施しており、小学生以下を対象として和菓子職人の手ほどきで木型を使った練り切りとぜんざいづくりを体験できます。久留米信愛短期大学の学生さんにも和菓子教室の手伝いにご協力いただいております。昨年は300人の参加者により大変好評でした。こどもだけでなく大人の方も体験したいとの要望もあり、本年5月の「第3回くるめ菓子祭り～うまかつ祭～」では大人も参加できる和菓子教室を企画しています。

このほか、和菓子のオリンピックである「全国菓子大博覧会」への出展（平成29年三重県伊勢市で開催）を行うなど、県内外に久留米菓子の魅力をPRすることにより組合員一丸となって認知度向上に努めています。

久留米菓子の文化継承を

組合員企業の経営者も高齢化により、事業承継への取り組みが急務になっています。今後は大手企業との差別化を図り、地域や自社の特性を生かしたお店づくりや事業展開を行っていく必要があると感じています。

また、SNSの普及が進み、若手経営者は個々の企業でそれらを活用した情報発信や消費者とのコミュニケーションを行う傾向にあります。



第2回くるめ菓子祭り～うまかつ祭～



こども和菓子教室の様子

が、組合における商品開発など魅力ある共同事業の実施や、互いに連携し、新たな価値を生み出す組合活動の意義を広めることにより、若手経営者の新規加入を促進していきます。

そして後世に菓子文化を伝え、消費者に心の安らぎ、豊かなひとときを提供することにより更なる需要拡大に繋げ、地域の活性化に寄与していきたいと考えています。

【第3回くるめ菓子祭り～うまかつ祭～】

日 時 2019年5月12日（日）
10時～16時

場 所 久留米市六ツ門町8-1
「久留米シティプラザ 六角堂広場」

☆久留米の和洋菓子やパンが一度に楽しめます!!皆様お誘いあわせのうえ、ぜひお越し下さい。

組合概要

組 合 名：久留米菓子協同組合
住 所：久留米市原古賀町20番19号
代表理事：岡田 義広
T E L：0942-32-2149
F A X：0942-39-1744
U R L：https://kurumekasi.jimdo.com/